

## 2024 国民スポーツ大会セーリング競技 鹿児島予選会

主 催：鹿児島県セーリング連盟

開催期日：2024年6月22日(土)～23日(日)

開催場所：鹿児島県平川ヨットハーバーとその沖合

## 帆 走 指 示 書 (SI)

本帆走指示書 (SI) における略語表記の意味

[SP]の表記は、レース委員会が審問なしに標準ペナルティーを与えることができる規則を意味する。これは規則 63.1 及び A5 を変更している。レース委員会は抗議することもでき、その場合には審問を経てプロテスト委員会の裁量によりペナルティーが決定される。

[NP]の表記は、その規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これはRRS60.1(a)を変更している。

## 1. 適用規則

- 1.1 本大会は2021-2024年セーリング競技規則(以下「RRS」という)に定義された規則を適用する。
- 1.2 付則Pを適用する。
- 1.3 [NP] [DP] RRS 40.2 を用いず、RRS 40.1 を次のとおり変更し適用する。「競技者は、水上にいる間は、衣服または個人装備を一時的に替えたり整えたりする間を除き、常時、個人用浮揚用具を着用していなければならない。ウエット・スーツやドライ・スーツは個人用浮揚用具ではない。」
- 1.4 国体ウィンドサーフィン級は、付則Bを適用する。

## 2. 選手とのコミュニケーション

- 2.1 選手に対する通告は、公式掲示板として使用するRRS.orgにて情報を展開する。選手への通告はEメールで該当する艇のヘルムスマンに自動配信される。
- 2.2 抗議、救済要求、得点照会、レースオフィシャルズへの質問などの手続きを行うフォームは、大会公式掲示板(オンライン)の上部にある青色の+ボタンを押す事でアクセスできる。
- 2.3 [DP] レース中、緊急の場合を除き、艇は音声やデータを送信してはならず、かつ、すべての艇が利用できない音声やデータ通信を受信してはならない。この制限は携帯電話及びGPSにも適用する。
- 2.4 大会公式掲示板のURLは以下のとおりである。(青字の部分をクリックすると、サイトにアクセスできる)  
大会公式掲示板(オンライン)  
RRS.org <https://www.racingrulesofsailing.org/documents/8764/event>

## 3. 帆走指示書の変更

- 3.1 帆走指示書(以下「SI」という)の変更は、それが発効する当日の09:00までに大会公式掲示板(オンライン)に掲示される。ただし、レース日程の変更は、発効する前日の18:00までに掲示される。

## 4. 行動規範

- 4.1 [DP] 競技者および支援者は、主催団体やレース委員会、プロテスト委員会からの合理的な要求に応じなければならない。

## 5. 陸上で発する信号

- 5.1 陸上で発せられる信号は、平川ヨットハウス艇庫前のポールに掲げられる。
- 5.2 [DP] [NP] 音響1声とともに掲揚されるD旗は、「艇はこの信号が発せられるまでハーバーから離れないようにしなければならない。」ことを意味する。また、予告信号はD旗掲揚後30分より前には発せられない。
- 5.3 予告信号予定時刻の30分前までに「D旗」が掲揚されない場合、そのレースのスタートは、時間の定めなく延期されている。

## 6. レースの日程

### 6.1 レース日程

レース日	時刻	内容
6月22日(土)	08:30	受付
	09:00	ブリーフィング
	10:25	最初のレースのスタート予告信号予定時刻
6月23日(日)	09:00	ブリーフィング
	09:55	最初のレースのスタート予告信号予定時刻

6.2 各クラス1日最大4レースを予定し、全7レースを予定する。

6.3 1つのレースまたは一連のレースが間もなく始まる事を注意喚起するために、予告信号を発する5分前にレース委員会信号艇(以下シグナルボートという)に音響1声とともに『オレンジ色のスタート・ライン旗』を掲揚する。

6.4 2024年6月23(日)は16:00より後に予告信号は発せられない。

## 7. クラス旗

7.1 各クラスのクラス旗は下記のとおりとする。

種別・種目	クラス旗	旗色
成年男子470級	420級 クラス旗	白地に青記章
成年女子セーリングスピリッツ級		
少年男子420級		
少年女子420級		
成年男子国スポウインドサーフィン級	国スポウインドサーフィン級 クラス旗	白地に青記章
成年女子国スポウインドサーフィン級		
成年男子ILCA7級	ILCA級 クラス旗	白地に赤記章
成年女子ILCA6級	ILCA級 クラス旗	黄緑地に赤記章
少年男子ILCA6級		
少年女子ILCA6級		

## 8. レースエリア

8.1 【別添函A】にレースエリアの位置を示す。

## 9. コース

9.1 【別添函B】は、各コース「コース・コード(02、I2、LR)」のコース見取り図を示す。各レグ間のおおよその角度、通過すべきマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。

9.2 予告信号以前に、シグナルボートに帆走すべき「コース・コード」と最初のレグのおおよそのコンパス方位を掲示する。

## 10. マーク

10.1 マーク1、2、3s/3p、4s/4pは、黄色円錐形ブイとする。

10.2 SI 12に規定される新しいマークは、ピンク色円柱形ブイとする。

10.3 スタート・マークは、シグナルボートと赤色円柱形ブイとする。

10.4 フィニッシュ・マークは、レース委員会艇と黄色球形ブイとする。

## 11. スタート

11.1 スタート・ラインは、スタート・マーク上のオレンジ色旗を掲揚しているポールと、スタート・マークのコース側との間とする。

- 11.2 スタート信号の4分以降にスタートする艇は、審問なしにスタートしなかった (DNS) と記録される。これは RRS A5.1 と A5.2 を変更している。
- 11.3 レースが再スタートまたは再レースとなった場合に掲示される RRS 30.4 に抵触した艇のセール番号は、次のレースの予告信号前に、レース委員会信号艇のスターン掲示板に掲示される。
- 11.4 [DP]他のレースのスタート手順の間、予告信号が発せられてない艇は、スタート・エリアを回避しなければならない。【別添図C】にスタート・エリアを示す。

## 12. コースの次のレグの変更

- 12.1 RRS 33 に基づきコースの次のレグを変更する場合、レース委員会は次の対応を行う。
- SI 10.2 に規定する新しいマークを設置する。
  - フィニッシュ・ラインを動かす。
  - 風下ゲートを動かす。
- また、新しいマークを設置した場合、実行できれば直ぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

## 13. フィニッシュ

- 13.1 フィニッシュ・ラインは、フィニッシュ・マーク上で青色旗を掲揚しているポールとフィニッシュ・マークのコース側との間とする。

## 14. ペナルティー方式

- 14.1 [SP] [NP] SI 18.1、18.2 の出艇帰着申告の手続きに誤りのあった艇は、レース委員会により標準ペナルティーが課せられる。但し DNF より悪い得点が与えられることはない。
- 14.2 SI に[SP]と記された規則に対する標準ペナルティーのリストは、1日目の9:00 までに掲示される。得点記録の略語は「STP」とする。これは RRS A10 を変更している。

## 15. タイム・リミットとターゲット・タイム

- 15.1 マーク1のタイム・リミット、レース・タイム・リミット、フィニッシュ・ウィンドウ及びターゲット・タイムを下表に示す。

マーク1のタイム・リミット	レース・タイム・リミット	フィニッシュ・ウィンドウ	ターゲット・タイム
20分	60分	15分	40-50分

- 15.2 マーク1のタイム・リミット内に1艇もマーク1を通過しなかった場合、レースは中止される。
- 15.3 RRS 30.3 及び30.4 に違反しないで、先頭艇が RRS 28.1 に従いコースを帆走してフィニッシュ後、15分以内にフィニッシュしない艇は、審問なしに『フィニッシュしなかった(DNF)』として記録される。また、フィニッシュウィンドウの起点となる艇はそれぞれの種目の先頭艇とする。この項は RRS A4 及び A5 を変更している。
- 15.4 ターゲット・タイムどおりとならなくても、救済要求の根拠とはならない。これは RRS 62.1(a)を変更している。

## 16. 審問要求

- 16.1 抗議及び救済または審問再開の要求は、大会公式掲示板 (オンライン) の上部にある青色の+ボタンを押す事でアクセスできる。抗議書 (審問リクエスト) フォームに記入のうえ、締切時間内にオンラインで提出しなければならない。
- 16.2 抗議締切時刻は、その日の最終レースに最終艇がフィニッシュした後、またはレース委員会が「本日はこれ以上レースを行わない」という信号を発した後、どちらか遅い方から60分とする。
- 16.3 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に、審問の予定を知らせるため、抗議締切時刻後30分以内に通告を大会公式掲示板 (オンライン) に掲示され、その艇へのヘルムスマンにEメールで連絡される。審問は掲示された時刻にプロテストルーム (ハーバー2階) にて開催される。当事者は、プロテスト委員会事務局前に待機していなければならない。
- 16.4 レース委員会及びテクニカル委員会、またはプロテスト委員会による抗議の通告を、RRS 61.1(b)に基づき艇に伝えるために大会公式掲示板 (オンライン) に掲示され、その艇のヘルムスマンにEメールで連絡される。
- 16.5 RRS 付則P に基づき RRS 42 違反に対するペナルティを課された艇のリストは大会公式掲示板 (オンライン) :

海上ペナルティ) に掲示される。

- 16.6 SI 及びレース公示(NoR)の規則で[SP]または[DP]の記された規則、クラス規則、RRS 付則G の規則および RRS 77 の違反に対するペナルティは、プロテスト委員会の裁量により失格より軽減することができる。
- 16.7 大会計測規定、クラスルールまたは[SP]および[DP]とマークされた NoR または SI の違反に対するペナルティは、プロテスト委員会の裁量でペナルティが決定する。艇は、これらの違反に関する審問より前に、大会公式掲示板(オンライン)の上部にある青色の+ボタンを押す事でアクセスできる。ペナルティ報告フォームに自ら違反したことを記入して提出することで、「スポーツマンシップと規則」に定められたスポーツマンシップの基本原則に従うことができる。
- 16.8 レースを行う最終日では、審問の再開の要求は、次の時間内に提出されなければならない。
- (a)要求する当事者が前日に判決を通告された場合には、抗議締切時間内。
- (b)要求する当事者がその当日に判決を通告された後 20 分以内。これは RRS 66 を変更している。
- 16.9 レースが予定される最終日においては、プロテスト委員会の判決に基づく救済要求は、判決の掲示から 20 分以内に提出されなければならない。これは、RRS 62.2(a)を変更している。

## 17. 得点

- 17.1 大会の成立には各クラス 2 レースが完了しなければならない。
- 17.2 4 レース未満しか完了しなかった場合、艇のシリーズの得点は、レース得点の合計とする。
- 17.3 4 レース以上完了した場合、艇のシリーズの得点は、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。

## 18. 安全規定

- 18.1 [NP] [SP] チェック・アウトは、大会受付に準備された申告書に記名しなければならず、該当する次のレースの予告信号予定時刻の 30 分前までにしなければならない。
- 18.2 [NP] [SP] チェック・インは、大会受付に準備された申告書に記名しなければならない。帰着した艇は、帰着後速やか(できるだけ早い機会)に、また、その日の当該種目の最終レース終了後、またはレース委員会が、「本日はこれ以上レースを行わない」という信号を発した後、どちらか遅い方から 60 分以内に署名用紙に署名をしなければならない。
- 18.3 [NP] [SP] レースの中止または延期により帰着した場合も、帰着申告を行わなければならない。
- 18.4 [NP] [SP] 出艇しない艇は、大会受付にてリタイア報告書を受け取り、記入して提出しなければならない。
- 18.5 [NP] [SP] レースからリタイアする艇は、可能であれば、出来るだけ早くレース委員会艇に伝え、帰着後は大会受付にてリタイア報告書を受け取り、記入して提出しなければならない。
- 18.6 レース委員会又はプロテスト委員会は、艇が安全に帆走できないと判断した場合は、リタイアを勧告することができる。また、艇が緊急救助を必要とするような危険な状態だと判断した場合は、強制的に救助活動を行うことがある。この場合、艇からの救済の要求は認められない。これは RRS 62.1(a)を変更している。

## 19. 装備の交換[NP] [DP]

- 19.1 損傷または紛失した装備の交換は、テクニカル委員会またはレース委員会の承認なしでは許可されない。交換の要請は、最初の妥当な機会に、テクニカル委員会またはレース委員会に行わなければならない。

## 20. 装備と計測のチェック

- 20.1 艇または装備は、各クラス規則と帆走指示書に従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。
- 20.2 [DP] 海上では、艇はレース委員会のイクイップメント・インスペクターまたはメジャーにより検査のために指定されたエリアに向かうことを指示されることがある。艇はこれらの指示に従わなければならない。

## 21. 運営艇

- 21.1 運営艇の標識は、以下のとおりとする。
- ・レース委員会艇・・・白地に「赤の RC の文字」
  - ・プロテスト委員会艇・・・赤地に「白の PROTEST の文字」

## 22. 支援チーム[NP] [DP]

- 22.1 支援艇は、レース委員会に支援艇登録をした後でないとは出艇できない。支援艇はレース委員会事務局が支給

- するピンク色旗（またはリボン）を掲揚すること。
- 22.2 監督・コーチその他の支援要員およびそのチームの関係者の乗艇している支援艇・応援艇は、最初にスタートするクラスの準備信号の時刻から、すべての艇がフィニッシュするかもしれないもしくはリタイアするか、またはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールもしくは中止の信号を発するまで、艇がレースをしているエリアの外側にいなければならない。【添付図D】参照のこと。
- 22.3 レース委員会信号艇にV旗が掲揚された場合、全ての支援艇は救助活動に従事すること。この旗は、レース中であっても掲揚されることがある。
- 22.4 支援艇は、SI22.3の場合を除き、レース委員会艇の無線通話を傍受してはならない。
- 22.5 支援艇（船外機艇）は海上にいる間、常にキル・コード（安全装置）を装着していなければならない。

### 23. ごみの処理

ごみは、支援艇または運営艇に渡してもよい。

### 24. 無線通信

全てのレース艇は海上でのワイヤレスの通信機器（携帯電話を含む）の所持及び使用を禁止する。

### 25. リスク・ステートメント

- 25.1 RRS 3には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任はその艇のみにある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。
- 25.2 この大会の競技者は、自分自身の責任で参加する（RRS 3『レースをすることの決定』参照）。主催団体は、大会の前後、期間中に生じた物的損害または人身傷害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

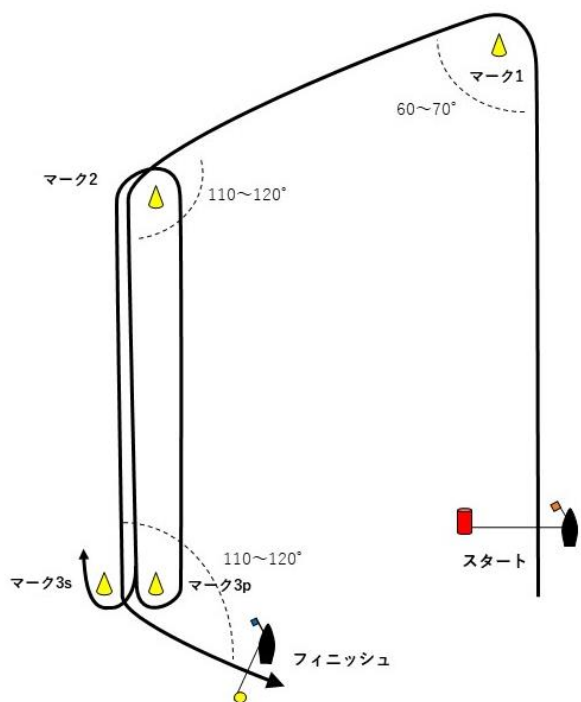
【別添図A】：レース海面



【別添図B】：コース図

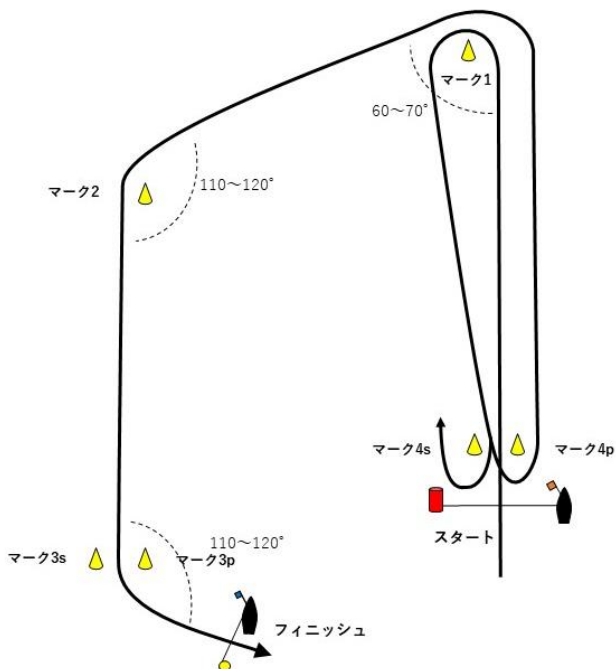
コース “02”

スタート-1-2-3s/3p-2-3p-フィニッシュ

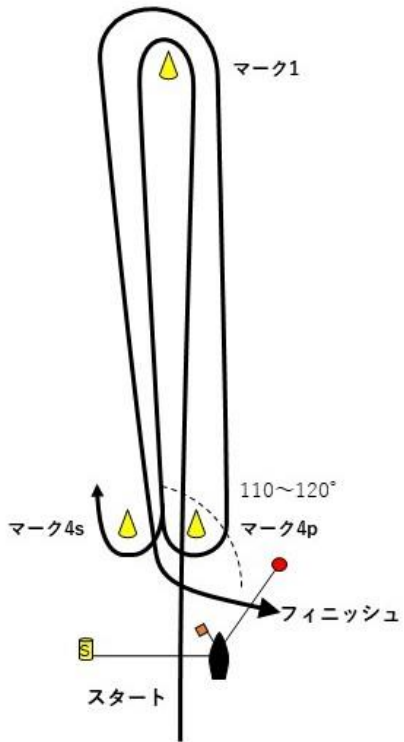


コース “I2”

スタート-1-4s/4p-1-2-3p-フィニッシュ



コース “LR”  
スタート-1-4s/4p-1-4p-フィニッシュ



【別添図C】： スタート・エリア  
SI 11.4に規定する「スタート・エリア」

